

## 個性としての“期生”

陽ざしもしだいにはるめいてきました。の時期は「三寒四温」と言われ、3日間ほど寒い日が続いた後に、4日間ほど暖かい日が続くといわれています。寒い日や暖かい日を繰り返しながら、季節は確実に春へと向かっています。この時期は、季節の変わり目であり、体調を崩しやすい時期でもあります。服装の調節などを通して健康管理をしっかりと行ってください。

さて、今週、12日の水曜日は、大阪府公立高校の一般選抜が行われます。受験されるみなさんのご健闘を心より、お祈りしています。また、14日の金曜日には、3年生の卒業式が行われます。今日は、1年生から3年生までそろって行う、本年度、最終の全校集会となります。

この一年間、3年生は3年生として、2年生は2年生として、1年生は1年生として、それぞれの学年で学ぶべきことをしっかりと学び、大きな成果とともに、成長してきました。とくに3年生は田辺中学校のリーダー学年として、様々な学校行事や部活動、生徒会活動をリードし、支えてくれました。現在、1年生は2年生に、2年生は3年生になるための心構えをとともに、準備を整えていることだと思います。

今日のお話は、「第何期生」の「期生」という言葉について考えていることをお話しします。新年度、4月1日からは、学年が変わります。けれども、76期生、77期生、78期生という呼び名は変わりません。3年生は卒業し、田辺中学校を離れても、76期生としての絆は決してなくなりません。何期生という言葉は、一人ひとりの心に刻まれ、時代を超えて、これからも続いていきます。

将来、同窓会を開くときにも、「田辺中学校・76期生」という言葉はこれからもずっと生きていきます。先週、田辺中学校の15期生の方々が、本校の校舎を見学したいというお申し出がありました。卒業後してから60年を過ぎても、同期のつながりを大切にされていることや田辺中学校のことを懐かしく思っておられることに、深い感銘を受けました。

一人ひとりに個性があるように、学年という集団にも個性があります。それぞれの学年としての役割や責任を果たしながら、これからも、76期生、77期生、78期生としての個性と絆を大切に育んでいってほしいと願っています。

このあと、運動場で「卒業生を送る会」が行われます。在校生と卒業生ともお互いの姿を目に焼き付けるとともに、それぞれの代表者の言葉をかみしめ、76期生の新たな旅立ちをともにお祝いしたいと思います。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。